

## 令和4年度 学力調査の結果について

### 1 学力調査について

#### (1) 全国学力・学習状況調査【国】

##### ①学力に関する調査結果について【資料1】 2 参照】

- ・小学校は、国語、算数、理科ともに、区の平均正答率が全国平均正答率を上回った。また、東京都の平均正答率も上回っており、学習状況は概ね良好であると考えられる。
- ・中学校は、数学において区の平均正答率が全国平均正答率を上回った。国語、理科は下回った。また、3教科ともに、東京都の平均正答率を下回っている。

##### ②児童・生徒質問紙調査結果について【資料1】 3 (2) 参照】

- ・「普段(月曜日から金曜日まで)、1日当たりどれくらいの時間携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」(質問紙)と、教科に関する調査のクロス集計から、1日当たりのSNSや動画視聴時間が短い児童・生徒は、平均正答率が高いことが分かった。
- ・「授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」(質問紙)と、教科に関する調査のクロス集計から、授業でICT機器を使用する頻度が高い児童・生徒は、平均正答率が高いことが分かった。

#### (2) 令和4年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査【都】

##### ①児童・生徒質問紙調査結果について【資料2】 2 参照】

- ・「授業では、他の人と考えを交流しながら課題を解決する活動を行っていると思う」の質問に、肯定的な回答をした児童・生徒の割合は、東京都の割合を上回っている。
- ・「他の人と相談して考えを深めるようにしている」「発表や話し合いのときは、話す内容や順序を考えてから話すようにしている」の質問に、肯定的な回答をした児童・生徒の割合は、東京都の割合を下回り、2割以上の児童・生徒が否定的な回答をしている。

#### (3) 令和4年度 豊島区基礎的・基本的な学習内容の定着に関する調査【区】

##### ①学力に関する調査結果について【資料3】 2 (1) (2) 参照】

- ・国語、算数・数学においては、全国平均正答率を下回ったのは中学校3年生の国語のみであり、概ね良好な学習状況である。
- ・社会においては、全学年、区平均正答率が全国平均正答率を下回っている。
- ・理科においては、小学校4・5年生の区平均正答率は、全国平均正答率を上回っている。小学校6年生以上の区平均正答率は、全国平均正答率を下回っている。

##### ②児童・生徒質問紙調査結果について【資料3】 3 参照】

- ・「あなたは授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べていますか」(質問紙)と、教科に関する調査のクロス集計から、疑問に感じたことを自分で調べている児童・生徒は、平均正答率が高いことが分かった。
- ・「あなたは学校生活の中で発言をするとき、他の人と同じ意見だった場合でも、自分なりに考えて発言していますか」「あなたがものごとを行うとき、次に何をすべきかを自分なりに判断して行動していますか」(質問紙)と、教科に関する調査のクロス集計から、自分で考えて発言したり行動したりしている児童・生徒は、平均正答率が高いことが分かった。

### 2 今後の取組について

- ・授業改善強化期間を設定し、全教員が1単位時間以上、授業改善推進プランに基づいた授業改善の具体的な手だてを取り入れた授業を実践する。期間中に指導主事等が授業観察を行い、指導・助言をする。
- ・年次研修や授業改善推進研修等において、「1単位時間の授業デザイン」「対話的な学びの充実」「ICTの効果的な活用」についての内容を扱う。また、指導課訪問の際に指導・助言を行い、教員の授業力の向上を図る。